【 事業者向け　放課後等デイサービス自己評価表 】

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			比較的広い施設内を指導訓練室と勉強部屋に分け、 それぞれに適した環境を整えている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			事業所理念に則ったサービスを提供できる人数の職員を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		室内の段差はありませんが、屋外と玄関には段差がある。
業務改善	④	業務改善を進めるための　PDCA　サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員間で利用者それぞれの目標を設定し、振り返る。 これを常に実施している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		アンケート調査は行ってないが、常日頃から直接聞き取り調査を行なっている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価を受けるよう検討している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			資質の向上は終わりなき道と受け止め、 定期的に研修会を実施している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			サービス提供を行う中で利用者の情報収集を行い、 保護者からの必要性を重ね合わせ、計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを活用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			定期的に行われている会議で、 活動プログラムの案を出し合って決めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者の成長や変化に合わせて活動内容を工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日・休日・長期休暇それぞれにプログラムを決め、 安定的に支援を提供している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者の状況に応じて、 個別活動と集団活動を組み合わせて計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			サービス提供時間の前に必ず打合せをして、 その日の内容の必要事項や役割分担を指導室内のホワイトボードに書き記し、 指導員各自が再確認できるように徹底している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後の打合せや振り返りは毎度行い、 気付いた点は必ず共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			利用時にはサービス提供記録へ記録を行い、 必要に応じてケース会議を実施している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、 利用者本人、家族の意向も伺いながら計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			単に基本活動を複数組み合わせるのみならず、 そこに利用者の“楽しみ”を加味出来るよう支援している。
関係機	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者会議には全利用者の状況に精通している者が参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校より行事予定表や細かな情報共有を行い、 事前にトラブルを回避している。

機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在該当する利用者はいないが、 受け入れる場合は主治医と連絡体制を整える事は可能である。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			利用開始前までに必ず情報共有の場を設け、相互理解を行なっている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		該当する利用者がいれば関係機関に情報提供をしていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		専門機関と連携し、助言や研修を受けることを検討している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			児童館が隣接しており、児童館の運動場で共に遊べる機会がある。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			機会があれば積極的に参加するよう努めている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			支援終了後、一日の状況や課題を保護者様にお伝えし、 また、定期的に面談を行い、ご理解を頂いている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレント・トレーニングの支援は行っていませんが、第一に保護者の声を受け入れ、肯定する事が重要と考えている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時、運営規定や契約内容等を 具体例を挙げながら補足説明をして、質問はその場でお応えしている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的または必要に応じて面談を行い、保護者の不安解消に努めている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	コロナ禍により保護者が集まるイベントは企画していない。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応しているか	○			まず事実をお互いに把握する事で誤解や曲解があればそれをなくし、 その上でなるべく早く対応している。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月末に会報を発行し、行事予定やイベント、療育活動の内容を発信している。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報については常に厳重に取り扱い、漏洩防止に努めている。 また言動にも十分注意している。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			特性を理解し、その方に合った表現方法で、 その日の様子を事細かにお伝えしております。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	当事業所が企画するイベント等へ招待する機会は設けていない。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		職員への周知はしているが、保護者へは周知できていない。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			一年に一度消防士の指導のもと避難訓練を行っている。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に研修会を開催し、知り得た事例を参考にして対応している。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時に、“生命または安全を守る”ために了承を得て承諾書に押印を頂いている。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		アレルギーを持つ利用者についての情報は把握しているが、 医師の指示書に基づく対応はできていない。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			これまでに蓄積してきた事例集を礎に置き、事業所内で共有している。

★保護者向け★　放デイサービス評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	90%	10%		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	80%		20%	Q.開放的な施設ではあるが所々に段差あり A.指導室はバリアフリーになっているが玄関等に段差あり 利用者が近づかないように気を配っております。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画[i]が作成されているか	90%	10%		
	⑤	活動プログラム[ii]が固定化しないよう工夫されているか	70%	20%	10%	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10%	30%	60%	Q.児童館との交流はない A.事業所として児童館との交流の機会は設けていないが 利用者と児童館に通う子供たちはグラウンドで一緒に遊んでおります。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	70%	30%		
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	90%	10%		連絡帳や毎月の会報にて通達されている
	⑭	個人情報に十分注意しているか	100%			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10%	10%	80%	Q.保護者には周知・説明をされていない A.保護者に対する説明会の開催を考えております。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%			
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	100%			
	⑱	事業所の支援に満足しているか	100%			